

学校支援を積極的に進める

## 子どもたちの笑顔を引き出すPTA活動

—学校行事への主体的な関わりを通して—

半田市立亀崎中学校PTA

### 1 はじめに

亀崎中学校は半田市の北東に位置し、生徒数452名、学級数15（特別支援学級2を含む）の中規模校である。亀崎地区には、300年の伝統がある「亀崎潮干祭」がある。この祭は、山車を潮干の浜へ曳き下ろすことからその名が付き、平成28年にはユネスコ無形文化遺産に登録された。



【上空から見た亀崎中学校】

亀崎中学校の生徒もこの祭に多く参加しており、歴史や伝統を受け継いでいる。

祭の組のつながりが地域のつながりとなることで、家庭と地域社会とのきずなを強化している。亀崎中学校区には地域の宝がたくさんあるため、歴史と伝統を学ぶ中で、地域を支える子どもたちを学校と連携して育てていきたいと考えている。

### 2 研究への取組

#### (1) 研究のねらい

本校のPTA活動では、毎年度以下のような取組を行っている。

- ① PTA役員による学用品リサイクルの実施（回収および配布）
- ② 広報委員会によるPTA新聞「かわら版」の発行（年2回）
- ③ 文化教育委員会による講演会の開催、高根祭（文化祭）の喫茶室運営
- ④ 生活指導委員会による校外巡視活動および校内あいさつ運動の実施
- ⑤ 保健環境委員会による学校美化活動（草刈り）および学校保健委員会運営への協力
- ⑥ 体育奨励委員会による保護者の親睦活動（ヨガ教室）の開催、マラソン大会の補助

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、これらの取組の多くが縮小・中止の方向に進んでいる。その状況は、学校生活を送る生徒のモチベーションにも大きく影響している。保護者からも、子どもたちのために何とか行事を行わせてあげたいという声も多く聞かれ、生徒のモチベーション向上と安全確保の狭間で、学校は行事の運営に大きなジレンマを抱えて指導をしている状況であった。

生徒の安全配慮を行いつつも、生徒がやりがいをもって行事に取り組

める環境を作ることを第一に考え、今年度は学校行事への支援に焦点を当て、これまで以上にPTA内の共通理解を図り、PTAの主体的なアイデアを学校に提示することで生徒のモチベーションを高めたいと考え、本研究を進めることとした。

(2) PTAの組織

今年度はPTA活動において、当初の年間計画からいくつかの変更がなされた。その中で校内最大の行事である高根祭（文化祭・体育祭）の内容については、役員会および全体委員会でも積極的に意見交換を行い、審議と承認を経て、PTAとして学校と連携できる活動を行った。

亀崎中学校父母と教師の会

P T A 総 会	全 体 委 員 会	役員会	会長（1名）、副会長（3名：母代・校長含む） 書記（3名：教頭・教師含む）、会計（2名：教師含む）
		各 種 委 員 会	文化教育委員会（10名）：会員の教養向上、社会教育発展への協力
			広報委員会（8名）：会員に向けた活動の周知、情宣活動
			保健環境委員会（10名）：生徒の健康増進と環境の充実に向けた福利寄与
			生活指導委員会（8名）：生徒の健全育成をめざした生徒指導
		体育奨励委員会（10名）：生徒の体育諸活動援助、会員相互の体力向上・親睦	
PTA会員			

【亀崎中学校PTA組織図】

3 実践活動の概要

(1) 役員会・全体委員会での率直な意見交換

役員会では、学校行事を行うに当たり保護者の立場として率直な意見交換を行った。特に高根祭の実施の可否については、保護者の思いも強い。種々の判断については、学校の意見だけでなく保護者の意見も確認することを学校に提案し、7月に行った全体委員会において保護者の代表である各委員からの意見集約を行った。

全体委員会の意見交換では、6月の学校再開からこれまで、多くの行事が中止になっており、子どもたちがとても悲しんでいるという意見が各委員から聞かれた。さらに10月に開催予定の高根祭については、縮小・変更は仕方ないが、今年度やれる方法を考えて子どもたちの思い出に残る行事にしたいという意見も出された。

(2) 高根祭に向けた環境整備の実施

例年であれば、8月に保護者・生徒の協力により校内の草刈りを行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から保護者・生徒による環境整備活動は中止となった。ただし、高根祭に向けたグラウンドの整備は必要であり、学校の要請により、休日にグラウンドを利用している社会体育団体の協力を得て



【環境整備活動】

草刈りを行った。PTAも役員が参加して作業を手伝った。さらに、高根祭間近の10月中旬に、再度グラウンド整備のため、団体の協力を得て草刈りを行った。ここでは、役員に加えて保健環境委員にも声をかけ、グラウンド周辺の草刈りを行った。

### (3) 高根祭（文化祭）でのリサイクル品配布の計画

学用品で使わなくなったものをあらかじめ集めておき、リサイクル品として文化祭で配布する活動をこれまでPTA役員で行ってきた。今年度は学校を再開した6月から保護者や地域に案内を出し、使わなくなった学用品（制服・ジャージ・体操服・カバン・シューズ等）を集めてきた。



【役員によるリサイクル品確認】

保護者の間では毎年期待されている活動となっているため、今年度のリサイクルは中止とせず、方法を検討して実施することにした。

実施に際しては、整理券配布時の行列など密になる状況への配慮が必要になる。今年度は整理券を手渡しせず、抽選で決定し、整理券を配布する方向に変更した。また、学用品を選ぶ時間にもゆとりをもたせ、一部屋に多くの人が入って密になることを避ける配慮についても検討した。PTA役員で様々な条件を話し合った結果、今年度は実施時期を高根祭から延期することにした。実施は、生徒の学校生活に支障がなく密な状況を避けられるように、11月にあるテスト期間中の午後を利用する方向で学校と日程調整をした。

### (4) 高根祭（体育祭）での応援タオルの贈呈

7月に行った全体委員会の中で、文化教育委員から応援用のタオルを体育祭の記念品として全生徒に送りたいという意見が出された。そこで、文化教育委員、役員および教員で検討を重ね、地域の衣料品業者の助言を得て応援用タオルを製作し、プレゼントすることになった。

今年度の高根祭は、感染症対策の一環で文化祭も体育祭も保護者の参観が不可となった。その中で、保護者として何か生徒のために関わりたい、生徒の笑顔が見たいという思いでこの取組を進めてきた。活動は文化教育委員会が中心となって計画を立てた。予算措置として、文化教育委員会が例年主催している教育講演会が中止になった分の予算と、文化祭で例年行っている喫茶室



【応援用タオルの贈呈式】

運営が中止になった分の予算を充てることとした。この予算の使途変更については、10月に行った全体委員会で審議・承認を得た。

また、今回のタオルのプレゼントはサプライズで行いたいという意向を学校に示したところ、生徒会担当者の計らいで、体育祭前日に行われる応援団長の決意表明の場で、応援用タオルの贈呈式を実施することが提案された。当日の贈呈はPTAからのサプライズプレゼントとして行い、PTA会長が全校生徒に向けてタオル贈呈の思いを伝えるとともに、文化教育委員長がタオルを応援団長に手渡した。タオルを受け取ったときの団長の笑顔と全生徒からの盛大な拍手が感動的であった。

#### (5) 高根祭（体育祭）での演舞（応援合戦）の撮影協力

今年度は、文化祭・体育祭ともに保護者の参観が中止となった。参観に来られない保護者への配慮として、文化祭や体育祭の様子を写真や映像の形で提供できないかとPTA役員から意見を出した。そこで、保護者からの参観希望が強い演舞（応援合戦）の映像をPTAで撮影協力し、地域業者に編集を依頼する計画を立てた。編集した映像は、学校のHP等でアップする流れとなった。



【PTAによる演舞の撮影】

また、地域の写真店に依頼して文化祭・体育祭の様子を撮影し、インターネットによる閲覧で写真販売をする流れも学校の配慮で実現した。演舞の撮影は、文化教育委員の3名が担当し、事前に編集業者から撮影ポイントのレクチャーを受けるとともに、演舞のリハーサルで撮影の練習をして当日を迎えた。体育祭当日は、喜々として競技に取り組む生徒たちの姿や演舞をやり切った3年生の達成感に満ちた笑顔を写真や映像に収めて、保護者に届けることができた。

## 4 おわりに

高根祭に向けた取組では、PTA委員が自分たちの思いをしっかりと意思表示できたことが重要であると感じた。ただし、今回の様々な取組は、PTAのアイデアだけではなく、その意見を汲み取り、ともに計画を練り上げ、承認してくださった校長先生を始めとする先生方のサポートなしには実現しなかったと考える。

保護者の思いや先生方の思いを受けて、子どもたちは達成感を感じてくれた。今後も亀崎中学校の生徒の笑顔をさらに引き出していくために、PTAと学校、地域との連携が重要になる。PTA内でさらに率直な意見交換をして、学校との意思疎通を密にして活動に取り組みたいと思う。